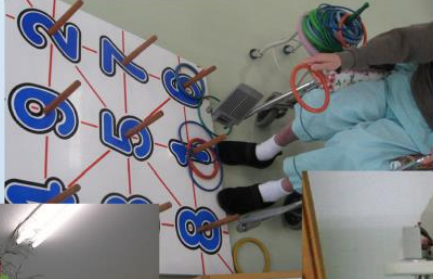




公益社団法人
茨城県作業療法士会
Ibaraki Association of Occupational Therapists

「作業療法」って どんな仕事？



作業療法とリハビリテーションについて

・作業療法とは？

理学療法士及び作業療法士法では、身体又は精神の障がいに対し、応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作、その他の作業を行わせることを作業療法と定義しています。

作業とは、外国語の occupation が「作業」と訳されたことが由来です。occupationには(場所を)占領する、(物を)占有する、(日時を)要する、(心を)捉えるなどの意味する occupyから由来しています。すなわち、場所、物、時間を身体と精神で満たすことを意味しています。

また作業療法士の作業とは、「生活を構成しているもので、身体と精神を通して、物理的、生理的、心理的、社会的、文化的結果を生み出すこと」としています。下図の作品もその一部です。



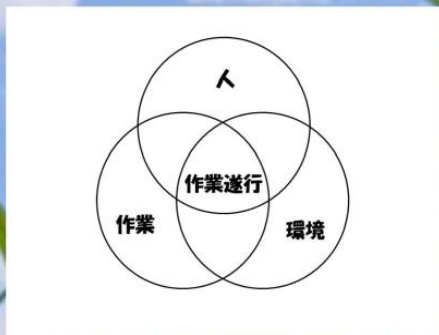
作業療法作品

・リハビリテーションとは？

いろいろな障がいを持った人々に対し、その障がいを可能な限り回復治療させ、また残された能力を最大限に高め、身体的・精神的・社会的にできる限りの自立した生活が送れるように援助することです。



作業療法士はチームで患者様の治療にあたります。



また、作業療法士が考える人を取り巻く、環境と作業との遂行モデル図です。



・身体障がい分野

病気や怪我により、身体に障がいを持った方に対してリハビリテーションを行います。

食事を上手に食べられない、服が上手に着られない、一人でお風呂に入れない等の日常生活に関わる動作を改善するために、様々な道具(輪投げ、バランスボール、自助具・補助器具)などを用い、治療・訓練を行っていきます。

・精神障がい分野

病気によりこころ(精神)に障がいをもった方に対してリハビリテーションを行います。

様々な活動(創作、料理、運動など)を通して社会性・協調性・作業性などの向上を目指すことにより、社会復帰及び生活の質の向上を目指していきます。

・発達障がい分野

からだやこころの成長・発達に障がいをもったお子さんに対してリハビリテーションを行います。

遊びを通じた訓練(フランク、お絵かき)などを用い、体や心の基本的な機能の発達や改善を促していきます。

・老年期障がい分野

加齢により、からだやこころに障がいを持った方に対してリハビリテーションを行います。

認知症や加齢に伴う身体機能低下などを持つ高齢者の方に対して、様々な活動(創作、料理、運動など)を通し、主体的な生活を送れるよう、また、生きがいや役割を持ち生き生きとした生活を送れるように心理的・社会的に支えていきます。

作業療法士の働く場

医療

病院:リハビリテーションセンター、小児病院、精神・神経科病院、診療所など

福祉

デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、児童福祉施設、授産施設、障がい者更生施設、心身障がい児施設、作業所など

保健・行政

保健所、保健センター、精神保健センター、デイケアセンター、老人保健施設、地方自治体など

教育

養護学校、専門学校、大学、医療短期大学、作業療法士養成校など

作業療法士になるには

作業療法士になるための養成校は、全国に182校（2014年度）、茨城県内には2校あります。

養成校は大学・専門学校があり、修業年限は3～4年です。

養成校を卒業すると国家試験の受験資格が得られ、その後国家試験に合格すると厚生労働省より作業療法士の免許が与えられます。

学校での勉強は、解剖学・生理学・病理学・運動学・臨床心理学など多くの学問を学んでいくため、資格取得までは困難な事もありますが、多くの患者様のために貢献できる素晴らしい職種です。

作業療法士に少しでも興味を持って頂けた方は「茨城県作業療法士会」のホームページへアクセスしたり、茨城県作業療法士会が主催する各種イベントに参加して頂ければと思います。

